

Sawamoto Dental Office News

2017年4月号



春風の心地よい季節になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？
今月のSawamoto Dental Office Newsは「抜歯」について特集してまいります。



<抜歯が必要な時と抜歯前のチェックポイントについて>

●抜歯が必要なのはいったいどんな時？

抜歯するのは、患者さんにとっても、歯科医師にとっても気が重いもの。
それでもあえてご提案するのは、「歯を抜くことによって患者さんを守る」という明確な目的があるからなのです。

理由その①...むし歯や歯周病が進行し、治療するには手遅れ。

歯のなかにたまった膿が周りの骨にもおよび、根を掃除したり(根管治療)、手術をしても救えない重篤なむし歯。
歯を支える骨が修復不可能なほど壊れている、重篤な歯周病になった歯。

理由その②...隣の歯や周りの骨に悪影響がある。

その歯を残すことにより、周りの歯や骨に悪影響がある時。横向きに生えてきて隣の歯を押し親知らずや、大きく縦にヒビが入ってしまった歯などは、そのままにしておくことで被害が周囲に拡大してしまいます。

理由その③...矯正や入れ歯の治療のために。

矯正、入れ歯やかぶせ物、インプラントなど、ご希望の治療の結果がより安定し、良い状態が長くもつように戦略的にいきます。慎重に治療計画を検討したうえで選択します。

●抜歯前のチェックポイント

服用中の持病のお薬は抜歯の結果に影響を及ぼすことがありますので、事前に申告をお願いします。
患者さんのお口と身体を守るため必要なことなので、ぜひご協力ください。

①血液サラサラのお薬飲んでませんか？

狭心症や脳梗塞などの治療で血液がサラサラになるお薬を飲んでいる方は、血がとまりにくいので事前に必ず申し出てください。止血パックを使ったり縫合するなどしてしっかり、止血を行います。自己判断でお薬の服用を休むのは危険ですので、服用をやめないようにお願いします。



②骨粗鬆症のお薬にもご用心！

中高年の女性に多い骨粗鬆症。
この薬は、抜歯した時にあごの骨が壊死する副作用がごくまれにでます。
一度生じてしまうと痛くて辛く、治すのも困難なので、服用している方は事前に必ず申し出てください。
場合によっては、休薬をお願いすることもあります。



③予約日の取り方にご注意を！

抜歯後に腫れや痛みが心配になった時、次の日が休診日で、歯科医師に電話がつながらなかつたら不安がついてしまいます。抜歯の予約は医院の休診日の前日は避け、できれば週の頭の午前中に入れるのがおすす。また、女性の方は、生理中は出血しやすい傾向があるので避けましょう。



現在の歯科は、よほどの理由がなければ歯を抜きません。歯を救う方法はないかと検討したり、治療をしてみても、それでもやはり「炎症が止まらない」「周りの健康な歯まで悪くしてしまう」という場合に歯を抜きます。
とはいえ、いくら理由があると言っても患者さんにとって抜歯は辛い選択...頭では理解していても、心は不安でいっぱいという方もおられるでしょう。

なぜ抜歯が必要なのかをきちんと理解し、抜歯の前後をしっかりケアして、少しでも緊張を減らせることが大切だと思います。

次回のSawamoto Dental Officeでは抜歯後のチェックポイントについて特集してまいります。

